

請戸漁港出初式 復興を祈願し出港

1月2日、請戸漁港において、請戸漁港出初式が開催されました。

出初式では、漁業の安全操業・大漁満足を祈念する神事が執り行われた後、漁船19隻が晴れ渡った青空の下、鮮やかに彩られた大漁旗をなびかせながら次々と出港していきました。

沖合に出た漁船は、漁業の安全操業と豊漁、そして請戸漁港の復興を願い、お神酒をささげました。



中学生人権作文コンテスト表彰

浪江中学校3年生の久米田滉斗さんが、中学生人権作文コンテストにおいて、福島地方法務局いわき支局長・いわき人権擁護委員協議会長から「奨励賞」を受賞しました。久米田さんが応募した作文は、東日本大震災で避難と転校をし、新しい友達を作るという経験から、相手に信用してもらえる対応をすることが大事だと気付き、成長することができたことをつづった作文です。平成30年度はいわき支局管内35校から1,236編の応募がありました。

また、浪江中学校に対し、福島地方法務局長・福島県人権擁護委員連合会長より感謝状が贈られました。



叙位・叙勲 伝達式を行いました

12月17日、浪江町役場において、平成30年6月に亡くなった馬場有さんに贈られた従五位・旭日小綬章の叙位・叙勲伝達式を行い、ご遺族が出席されました。

馬場さんは、浪江町議会議員（平成元年5月から4期14年）、福島県議会議員（平成15年4月から1期4年）、浪江町長（平成19年12月から3期10年6か月）を務められ、地方自治の発展と町政執行および東日本大震災とそれに伴う東京電力福島第一原子力発電所事故からの復旧・復興に尽力されました。



復興への想い新たに あるけあるけ初日詣



1月1日、新春恒例の「あるけあるけ初日詣大会」が開催されました。

大会には約100人の方が参加し、参加者は凍えるような寒さの中、まち・なみ・まるしえから初日の出イベント会場の大平山霊園まで、約3キロメートルの道のりを歩きました。

大平山霊園では、浪江青年会議所の皆さんによるなみえ焼そばの振る舞い、焼酎BARひかり家の豚汁や温かい飲物の販売があり、初日の出を見ようと集まった約300人が、温かい食べ物で暖を取りながら、日の出を待ちました。

だんだんと空が明らみ、6時50分ごろ、平成最後の初日が昇り、新年の誓いと町の復興の願いを込め、新春を彩る神楽が川添芸能保存会により披露されました。



皆さまの身の回りにある楽しい話題、
いっぶう変わった話題などの情報を募集しています。

問 企画財政課情報統計係
TEL 0240(34)0241

